

Cradle®

クレイドル ハーネスジュニアISOFIX



企画・販売

SANSHO

株式会社シーエー産商

本社 〒480-0201 愛知県西春日井郡豊山町大字青山字東栄51

www.ca-sansho.co.jp

お客様相談窓口

●本製品に関するお問い合わせ(月曜日～金曜日※弊社休日は除く)

0120-034-017

受付時間/AM10:00～12:00・PM1:00～5:00

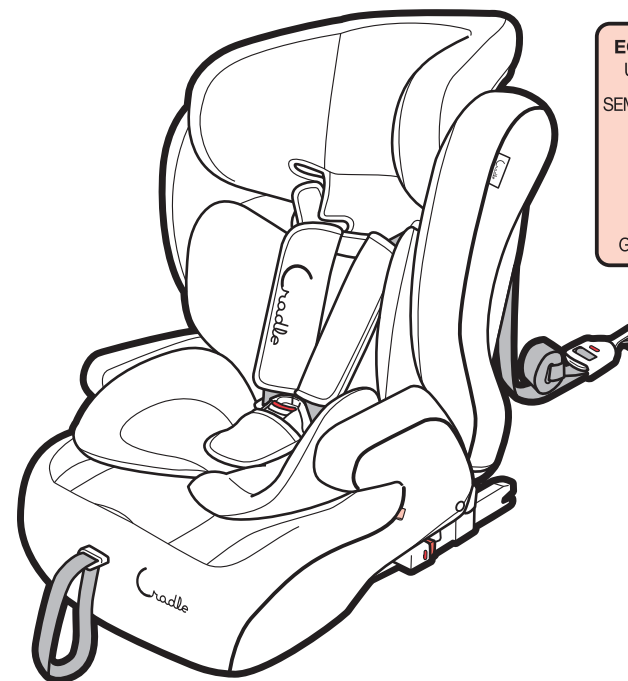
CR5004/5006-2022-02

Cradle®

クレイドル ハーネスジュニアISOFIX

取扱説明書/保証書

ご使用になる前に必ずこの『取扱説明書』を読んでいただき、
十分にご理解された上で、記載の内容に従って正しくご使用ください。



ECE R44/04
UNIVERSAL
AND
SEMI-UNIVERSAL
9-18kg Y
15-36kg
E24
040244
GROUP I, II, III

※本書に使用しているイラストは、取り扱い方や使い方をわかりやすくするため、実際とは多少異なる場合があります。

シートを傷めるおそれがあるため、**本革シートの車両**はそのまま取り付けしないで
ください。取り付ける場合は、保護シート等を敷いてからお取り付けください。(別売)

ご使用になる前に

目次

●ご使用になる前に	目次	1
	本装置について	2
	ご利用にあたって	2
	安全にご使用いただくために	3
	ご使用いただけるお子様の目安と取り付け方	7
	ISOFIX+トップテザーで取り付けできる座席	9
	取り付けできない座席	10
	取り付けできる3点式シートベルト	11
	取り付けできないシートベルト	12
●各部の名称		13
●組み立て方		15
●各部の使い方	バックル・タンク	16
	ヘッドサポート	17
	肩ベルト	18
	インナークッション	18
	ISOFIX	19
	テザーアンカー	20
●チャイルドシートとしての使い方	ISOFIXコネクタ+トップテザーを取り付けて使用する	21
	3点式シートベルトを取り付けて使用する	24
	お子様の乗せ方	27
	お子様の降ろし方	28
●ジュニアシート(ハイバックシート)としての使い方	ご使用になる前に	29
	ISOFIXコネクタ+3点式シートベルトを併用して使用する	30
	お子様の乗せ方	31
	お子様の降ろし方	32
●ジュニアシート(ブースターシート)としての使い方	ISOFIXコネクタ+3点式シートベルトを併用して使用する	33
	ご使用になる前に	33
	お子様の乗せ方	34
	お子様の降ろし方	34
●ご使用前の日常点検	チャイルドシートとして使用する場合	35
	ジュニアシート(ハイバックシート)として使用する場合	35
	ジュニアシート(ブースターシート)として使用する場合	36
●お手入れのしかた	カバー類の取り外し方	37
	カバー類の取り付け方	38
	ベルトの取り付け方	39
	カバー・パッド・クッション	40
	本体・ベルト・バックル等	40
●困ったときは		41
●保証規定／保証書		42

本装置について

- 本装置は、ご使用いただける目安として体重:9kg~36kg(身長:約75~138cm)までのお子様に対応するものです。
- 本装置は、自動車事故等の際に、お子様の傷害を緩和することを目的としてつくられた、年少者用補助乗車装置です。ただし、必ずしも事故からお子様を無傷で守るものではありません。『取扱説明書』に従い確実な取り付けと、ご使用する時は必ず保護者の方が同乗し、安全運転をお願いします。
- 本装置は、安全規格(ECE R44/04)に認可されたISOFIX型チャイルドシートです。本装置は、ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席と、3点式巻取装置付シートベルトを装備している座席に取り付けることができます。

〈中古品のご使用について〉

前の使用者の使用履歴や使用状況が不明な場合は、ご使用いただけません。特にベルトや部品にキズやひび割れ等の損傷がある場合は、事故等により強い衝撃を受けたおそれがありますので決して使用しないでください。

※ご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様相談窓口」まで、お問い合わせください。

ご利用にあたって

- 本書を読んでいただくためのポイントマークについて…
下記のポイントマークは安全に関する内容ですので、必ず守っていただき本装置をご使用ください。

警告

事故につながったり、生命の危険、重大な傷害のおそれがあることを記載しています。

注意

安全のため、ご注意ください。記載しています。

補足

より安全・快適にご使用していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



図に表示している行為の禁止を示しています。

ご使用になる前に

安全にご使用いただくために

記載内容を守らないと、生命の危機または重大な傷害につながるおそれがあります。

警告

- 本装置は『取扱説明書』通りに取り付けてください。
- 車両のシートベルトや座席の種類・形状により、『取扱説明書』通りに取り付けできない場合は、使用しないでください。

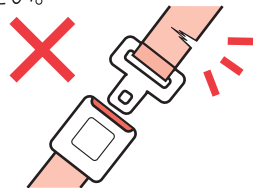
- 本装置のベルトが緩んだ状態で、使用しないでください。ベルトに緩みがあると首に巻き付いて窒息するおそれがありますので、必ず正しい長さでご使用ください。

- お子様を本装置に乗せてセットする際は、骨盤が腰ベルトで拘束されるように低い位置で着用し、肩ベルトもお子様に合わせて、適切な位置で拘束されるようにしてください。

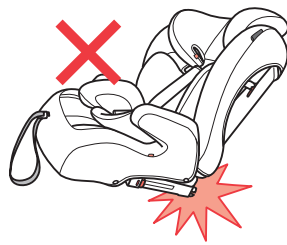
- お子様がバックルボタンを押してベルトを外したり、ベルトから抜け出ないように時々ロック部分の確認をしてください。



- 車両のシートベルトや本装置のベルトを傷つけないように注意してください。傷ついた場合、衝撃時に十分な効果が得られない場合がありますので、使用しないでください。



- 衝突等により本装置が強い衝撃を受けた場合、破損のおそれがありますので使用しないでください。



- 拘束機能に影響を与えるおそれがありますので、本装置のカバー・クッション・ベルト類・付属金具等を外して使用しないでください。(インナークッションを除く)

- 走行中にお子様の乗せ降ろし(乗り降り)や、本装置の調節等は絶対にしないでください。

警告

- エアバッグが装備されている座席には、本装置は使用できません。衝突時、エアバッグの作動により、衝撃を受け非常に危険です。
※サイドエアバッグのみの場合は、使用できます。



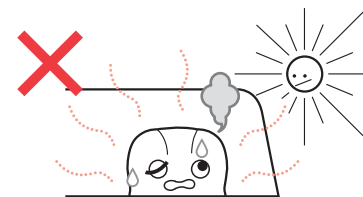
- お子様を乗せたまま車両から離れないようにしてください。不慮の事故につながるおそれがあります。



- お子様の負担を考え、1時間以上連続して使用しないでください。

- ISOFIX・トップテザーがロックされていない状態で、使用しないでください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が動いて不慮の事故につながるおそれがあります。

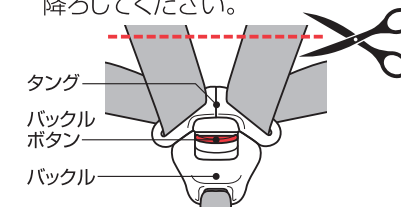
- 本装置を屋外に放置しないでください。日光や雨などで機能を損ねる原因になる場合があります。



- 本装置を取り付けた後に、車両の座席の移動や本装置の調節をしないでください。固定が緩むおそれがあります。

- 緊急時に脱出の妨げになる座席には取り付けしないでください。(例：片側スライドドアのドア側座席など)

- 緊急時は慌てず速やかにお子様を救出してください。バックルボタン(赤いボタン)を下に押ししても、タングがバックルから解除できない場合は、本装置のベルトをはさみ等で切って、お子様を降ろしてください。



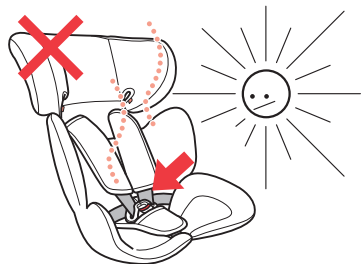
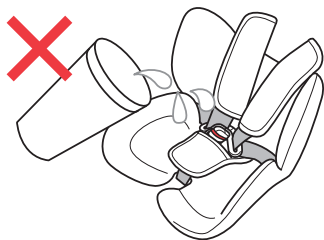
ご使用になる前に

安全にご使用いただくために

記載内容を守らないと、傷害または事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

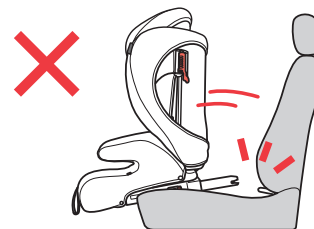
- 本装置は車両専用ですので、車両以外での使用はしないでください。
- 走行や運転操作の支障になる座席には取り付けしないでください。
- お子様が転倒する危険がありますので、本装置の上で立ち上がりたり、中腰にさせないようにしてください。
- 本装置を取り付ける座席には、マット類など何も置かないでください（本革シートなどのシートを保護するためのマットは除く）。座面がぐらついてしっかり取り付けられません。また衝突した際、本装置の性能が十分発揮されません。
- 本装置に日光が当たりますと、熱くなってお子様がやけどをするおそれがありますので、大人が金属部分・樹脂部等に触れて、熱くなっていないかを確認してください。
- 本装置を取り付ける際に、車両の座席やドアに挟まれたりしないように注意してください。
- 本装置のベルトがねじれたり、緩んだ状態で使用しないでください。
- 本装置のバックルや可動部分に、水やジュース等をかけないでください。ゴミなどが入った場合はしっかり取り除いてください。部品の故障につながります。



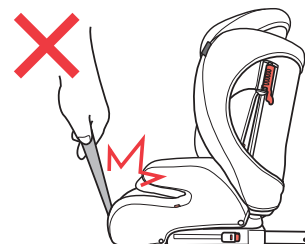
- 車両内に、傷害を与えるおそれのあるものを放置しないでください。万一の際に、お子様や同乗者がケガをするおそれがあります。
- ホコリの多い場所に放置したり使用すると、ISOFIXコネクタ等の可動部分が詰まり、故障の原因になる場合があります。
- お子様に本装置の取り付けや、操作をさせないでください。

⚠ 注意

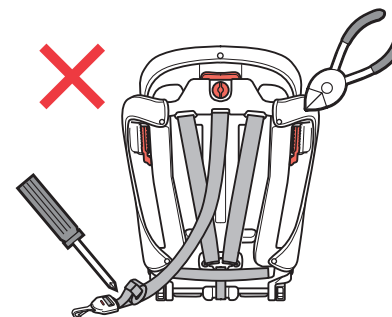
- 本装置に重いものを載せないでください。
- パッド類など本装置の部品が破損した状態で使用しないでください。
- 本装置にお子様を乗せない時でも、安全のため必ずISOFIXコネクタや車両のシートベルトで固定してください。また、タンクもバックルにセットしてください。衝突時や急ブレーキをかけた際、本装置が移動してケガをするおそれがあります。
- 厚着や防寒具の上から本装置のベルトを装着すると、ベルトの緩みの原因になるおそれがあります。防寒対策は、ベルトを装着した上からしてください。



- 肩ベルト調節ストラップを上を引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。



- 本体カバーやパッド・クッション類の洗浄に、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。
- 改造・修理はしないでください。破損・故障の原因になります。



ご使用になる前に

ご使用いただけるお子様の目安と取り付け方

●本装置は、お子様の年齢や体重により取り付け方が異なりますので、ご使用に

なる前にお子様にあった取り付け方を確認し、ご使用ください。

チャイルドシート
〈グループI〉
適応体重
9kg以上18kg以下
●年齢の目安… 1才頃～4才頃
●身長を目安… 75～100cm以下

**ISOFIXコネクタと
トップテザー**を座席に
取り付けて使用する

ISOFIX + トップテザー

●ISOFIXコネクタとトップテザーを取り付け
本装置のベルトでお子様を拘束します。

ISOFIXコネクタ ISOFIX 取付金具 テザーアンカー
トップテザーフック

3点式シートベルトで
本装置を取り付けて
使用する

3点式
シートベルト

**ジュニアシート
(ハイバックシート)**
〈グループII,III〉
適応体重
15kg以上36kg以下
●年齢の目安… 3才頃～11才頃
●身長を目安… 95～138cm以下

**ISOFIXコネクタと
3点式シートベルト**を
併用して使用する

本装置のクッション、ベルト・バックル等を取り外します。

ISOFIX + 3点式
シートベルト

●ISOFIXコネクタを取り付け、
3点式シートベルトでお子様を拘束します。

ISOFIXコネクタ ISOFIX 取付金具

●ジュニアシートは、ISOFIXと
3点式シートベルトの併用を
推奨しますが、
3点式シートベルトのみでも
ご使用いただけます。

**ジュニアシート
(ブースターシート)**
〈グループIII〉
適応体重
22kg以上36kg以下
●年齢の目安… 6才頃～11才頃
●身長を目安… 110～138cm以下

**ISOFIXコネクタと
3点式シートベルト**を
併用して使用する

本装置の背もたれを
取り外して、座面のみになります。

ISOFIX + 3点式
シートベルト

●ISOFIXコネクタを取り付け、
3点式シートベルトでお子様を拘束します。

ISOFIXコネクタ ISOFIX 取付金具

(ハイバックシート) (ブースターシート)

3点式
シートベルト

※「年齢・身長を目安」は、あくまでも「目安」です。体重条件を満たしていないお子様は、ご使用いただけません。

ご使用になる前に

ISOFIX+トップテザーで取り付けできる座席

- 前向きに「ISOFIX取付金具」が装備されている座席です。「ISOFIX取付金具」は、ISOFIXチャイルドシートを取り付けるために、座席の背もたれと座席の間に装備されている固定金具です。チャイルドシートの上部を固定する「トップテザー」と併せて使用するので、衝突時の安全性を高めます。

※ご不明な場合は車両の『取扱説明書』をご確認いただくか、車両をご購入された販売店にお問い合わせください。



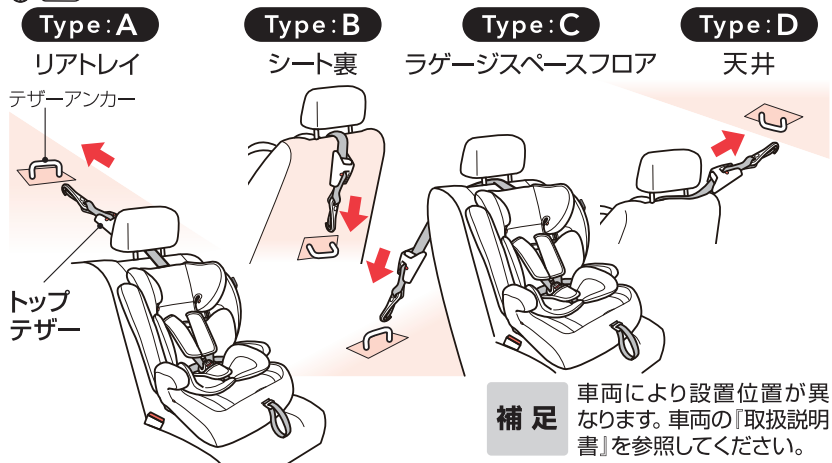
ISOFIX取付金具



補足 ISOFIX取付金具は、通常2列目の左右座席に装備されています。



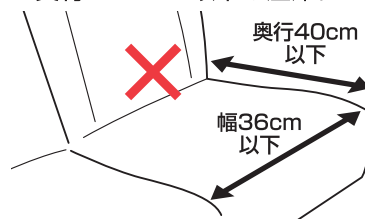
テザーアンカー



補足 車両により設置位置が異なります。車両の『取扱説明書』を参照してください。

取り付けできない座席

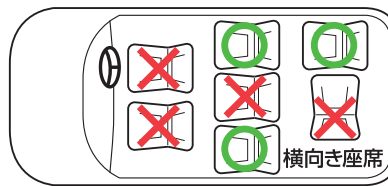
- 座面の幅が36cm以下、座面の奥行が40cm以下の座席。



- エアバッグが装備されている座席。
※サイドエアバッグのみの場合はご使用いただけます。



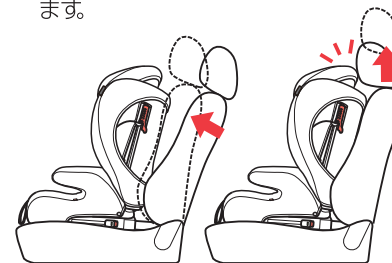
- 本装置を使用することにより、緊急時に同乗者が脱出する際、妨げになる座席。
- 助手席には決して取り付けしないでください。
- 進行方向に対し、横向きや後ろ向きの座席。



○ 取り付け可能 × 取り付け不可

- 座席と本装置との間に大きな隙間ができる座席、または車両のヘッドレストと本装置が干渉して固定が不安定になる座席。

※座席の背もたれを起こしたり、ヘッドレストを上下に調節したり外すことで、取り付けることができる場合があります。



- 本装置が車両のドアリム等に干渉して、ドアを閉めることができない座席。

- ピラーなどに接触して正しく取り付けできない座席。

- 極端なバケットシート。座面・背面が極端に凹んだ座席、座面の凹凸が大きく、取り付けたときに不安定になる座席。

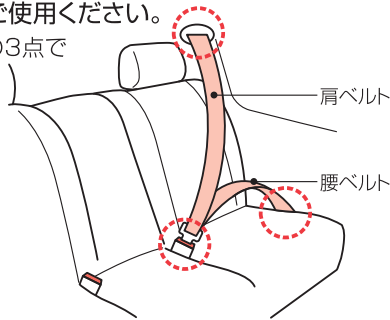
- 本装置を取り付けた際に、運転に支障をきたす座席。

- 本革シート、レザーシートの座席。
※シートを傷めるおそれがあるため、そのまま本装置を取り付けしないでください。取り付けの場合は、必ず保護シート(別売)等を敷いてからお取り付けください。

ご使用になる前に

取り付けできる3点式シートベルト

- 必ず3点式シートベルトをご使用ください。
(腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で
身体を支えるシートベルト)



〈3点式シートベルトの種類〉

AELR式シートベルト

〈チャイルドシート固定機能付シートベルト〉

すべて引き出した後で巻き戻すと、チャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなるシートベルト。(シートベルトをすべて巻き戻すと解除される)

ELR式シートベルト

〈緊急ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト〉

ゆっくり引き出すと自由に出入りしますが、急に引き出したり急ブレーキ等のショックが加わるとロックするシートベルト。

ALR式シートベルト

〈自動ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト〉

引き出す途中で止めると、ベルトが自動ロックされ引き出せなくなるシートベルト。

NLR式シートベルト

〈非ロック式ベルト巻き取り機能付シートベルト〉

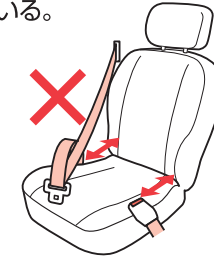
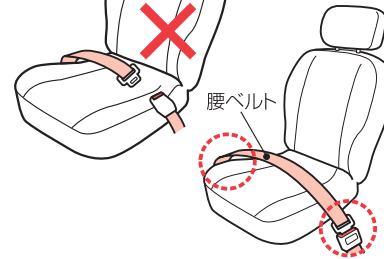
ロック機能がなく、すべて引き出して長さを調整するシートベルト。

マニュアル式シートベルト

巻き取り機能のない3点式シートベルト。

取り付けできないシートベルト

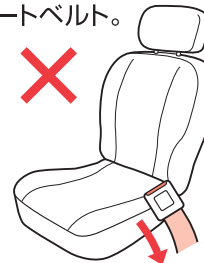
- シートベルトが装備されていない。
- 2点式シートベルト。
(腰ベルトの左右2点で身体を支える
シートベルト)
- 車両のバックル、シートベルトが
背もたれよりも約10cm以上前に
出ている。



- 自動式ショルダーベルト(パッシブ
シートベルト)*が、装備されている。
※ドアを閉めると自動的にシートベルト
を装着する機能があるシートベルト。



- 車両のバックルベルトが巻き取り
式のシートベルト。



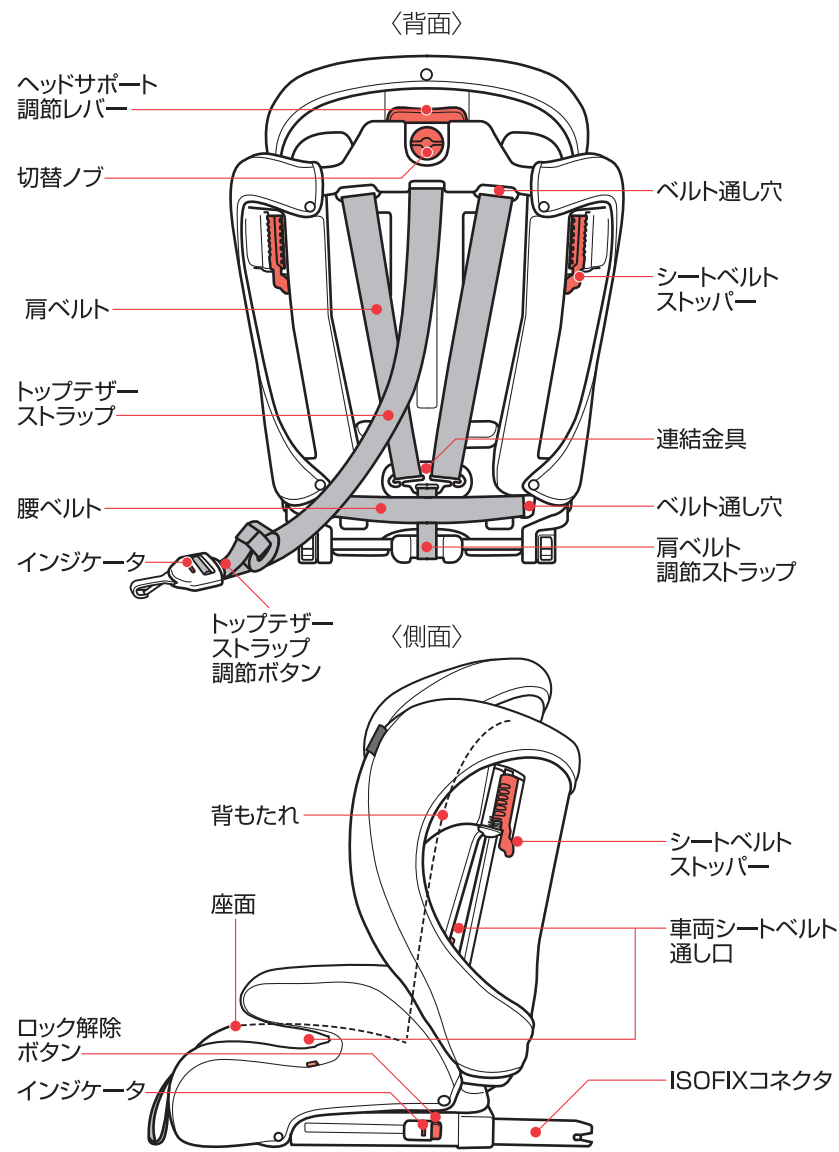
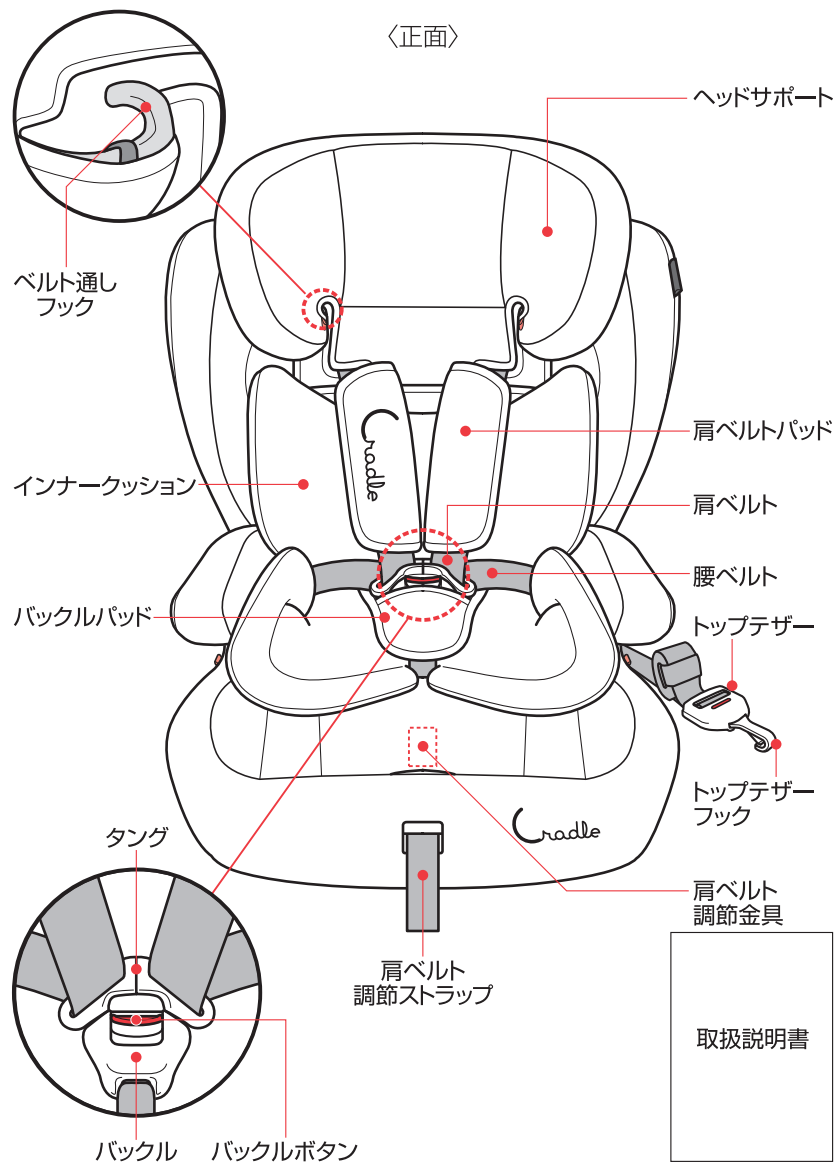
- 腰ベルト、または肩ベルトがドアに
取り付けられている。



- 受け側のバックルベルトの長さが
約15cm以上ある場合、車両の
バックルやタンクが本装置とあたり、
しっかり締め
付けができない。



各部の名称



組み立て方

1

バックルボタン(赤いボタン)を押して、タングをバックルから解除します。

2

インナークッションを取り外します。座面と背もたれを持ち上げながら、座面のバーと背もたれのフックを合わせます。座面のジョイントを背もたれのジョイントに差し込みます。



注意 ジョイントに差し込む際にベルトがねじれていないか、背もたれと座面の間にベルト・タングが挟まっていないかを確認してください。

3

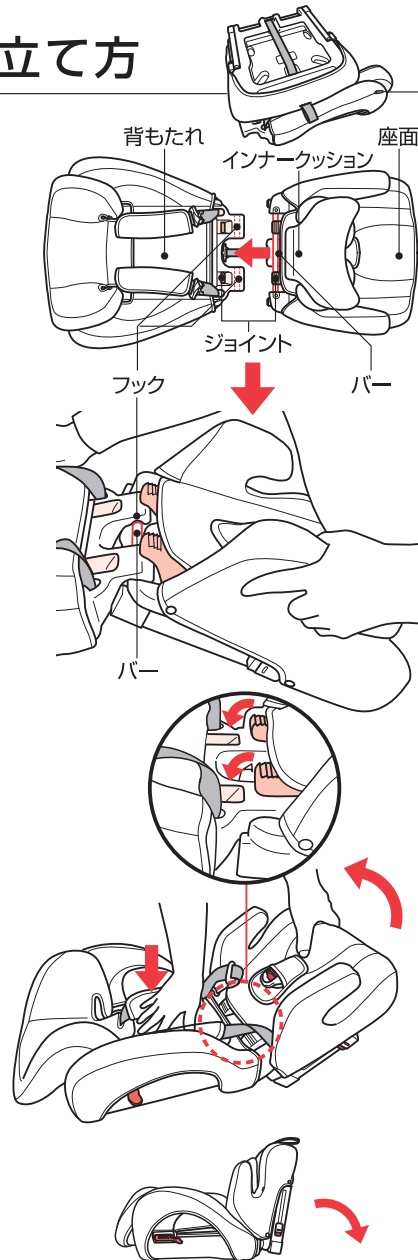
背もたれを軽く押さえながら、座面をゆっくり引き上げます。インナークッションを取り付け、左右のタングを合わせ、バックルに差し込みます。



注意 引き上げるときにスムーズに上がらない場合は、再度確実に差し込んでから引き上げてください。無理に引き上げると破損のおそれがあります。

補足

組み立てた背もたれと座面は固定されていませんので、倒れやすくなっています。また車両の座席に設置する際、座面と背もたれの接合部に指を挟まないようにご注意ください。

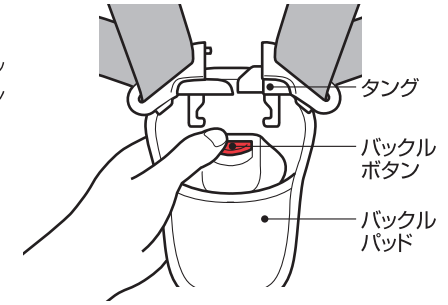


各部の使い方

バックル・タング

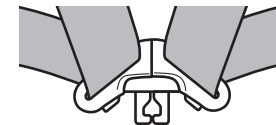
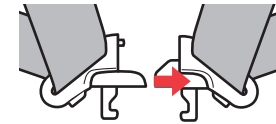
●ロックを解除する

バックルパッドを引き下げ、バックルボタン(赤いボタン)を押して、タングをバックルから解除します。



●ロックする

左右のタングを合わせます。バックルに「カチッ」と音がするまで確実に差し込み、バックルパッドを引き上げます。



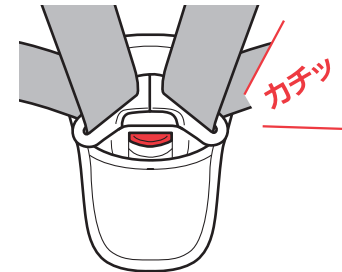
警告 バックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたことを確認してください。



注意 タングの接合部に強い力を加えないでください。破損するおそれがあります。

補足

バックル(タング差し込み口)に飲み物や食べかす等が入ると、故障の原因になりますので、水分・ゴミは取り除いてください。

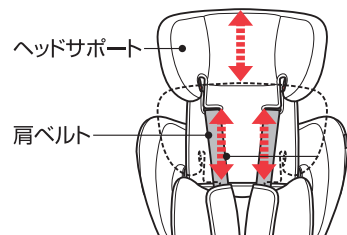
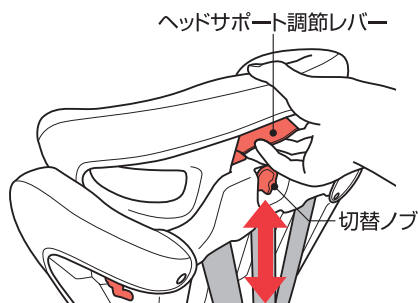
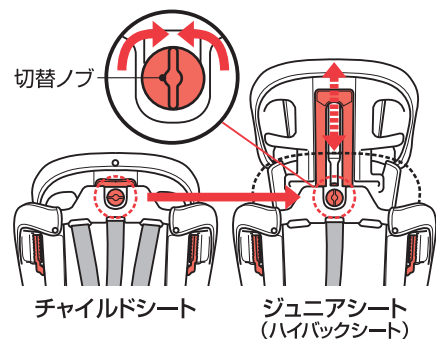


各部の使い方

ヘッドサポート

ヘッドサポート(肩ベルトと連動)の調節方法と高さ調節の目安

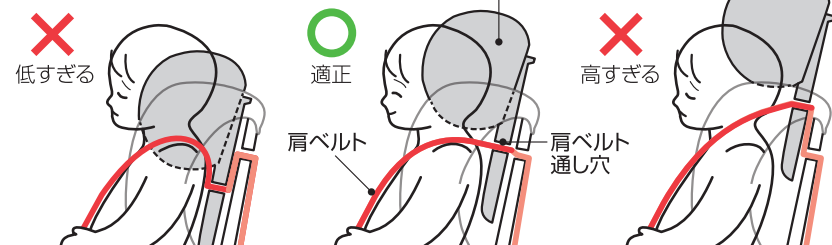
ヘッドサポート調節レバーを持ち上げて、ヘッドサポート・肩ベルトを同時に上下させることができます。お子様の身体に合った位置に調節してください。
ハイバックシートとしてご使用になる場合は、切替ノブを回して(下図)ヘッドサポートを引き上げてください。



補足 肩ベルトを緩めてからヘッドサポートの高さの調節をしてください。

●高さ調節の目安

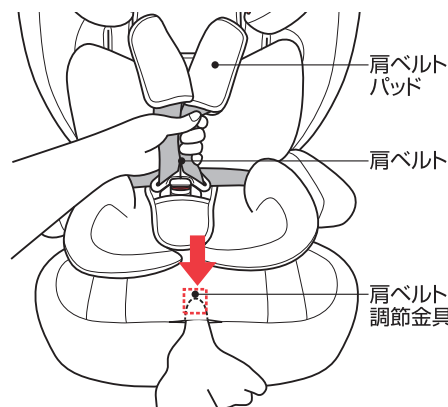
肩ベルトの出口がお子様の肩の高さと同じか、やや高い位置になるように高さを調節します。



肩ベルト

●肩ベルトを緩める

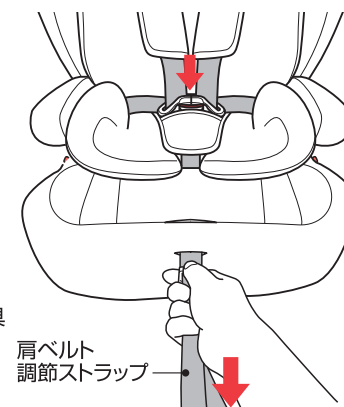
肩ベルト調節金具をしっかり押しながら、左右の肩ベルト(肩ベルトパッドの下側)を持って手前に引っ張ります。



注意 左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

●肩ベルトを締める

肩ベルト調節ストラップを、手前にゆっくり引っ張ります。



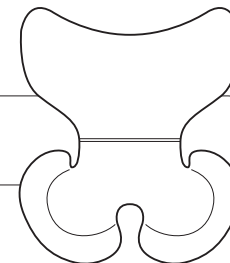
補足 肩ベルトの調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。

インナークッション

インナークッションは、リバーシブルタイプになっています。

表: ニット生地(柔らかい肌触りです)
裏: メッシュ生地(通気性に優れています)

●13kg未満のお子様は、インナークッションのご使用をお勧めします。



各部の使い方

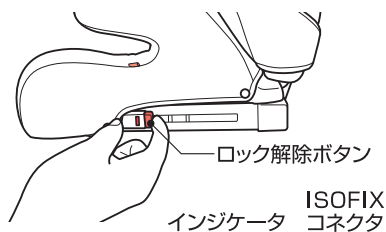


ISOFIX

●引き出し方

ロック解除ボタン(赤)を押しながら、ISOFIXコネクタを目一杯引き出します。

※インジケータは赤色です。



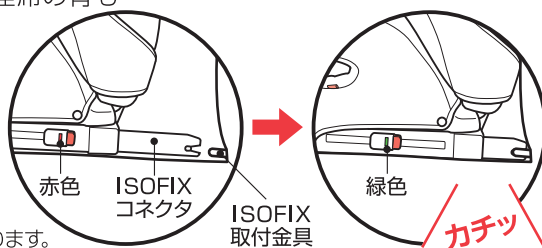
●取り付け方

ISOFIXコネクタを、ISOFIX取付金具に合わせて「カチッ」と音がするまで差し込んで固定します。

さらに、本装置と車両の座席の背もたれとの間に隙間がなくなるまでゆっくりと押し込んでください。

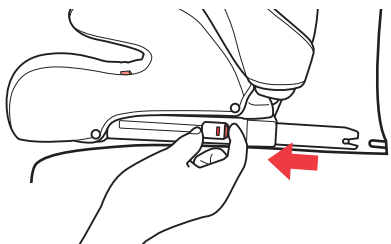
確実にロックされているか、本体を前後に軽く揺すって確認してください。

※インジケータは緑色に変わります。



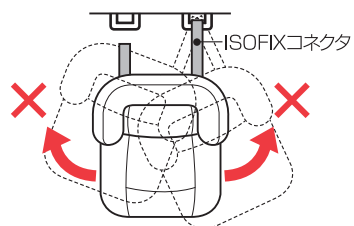
●取り外し方

ロック解除ボタン(赤)を押しながら、ISOFIXコネクタを引き戻してください。



⚠注意

取り付け・取り外しの際、ISOFIXコネクタが片側のみ接続された状態で本体を左右に揺ると、ISOFIXコネクタが破損しますので絶対におやめください。

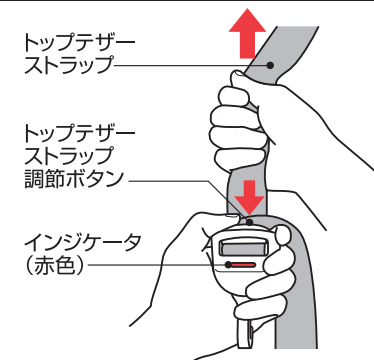


トップテザー

●緩め方

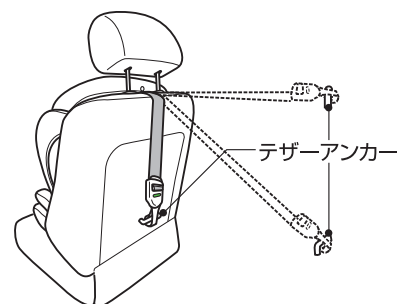
トップテザーストラップ調節ボタンを押しながら、後ろ側のトップテザーストラップを引き出して緩めます。

※インジケータは赤色。

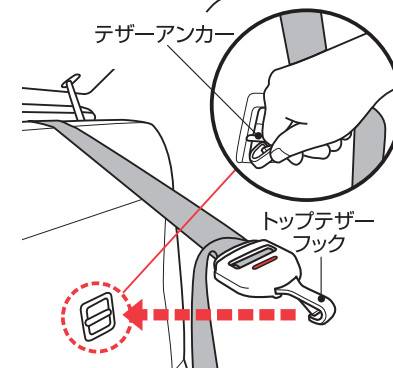


●取り付け方

トップテザーフックを、テザーアンカーに取り付けます。



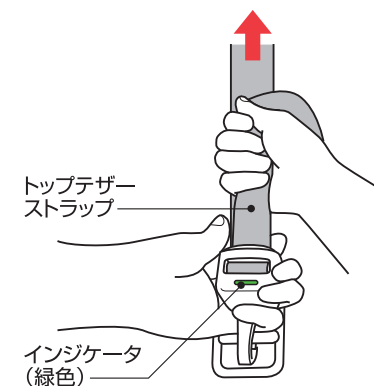
※車両によってテザーアンカーの位置が異なりますので、車両の『取扱説明書』で確認してください。



●締め方

手前のトップテザーストラップを引っ張り、インジケータが緑色に変わるまで締め付けます。

※インジケータが緑色。
(締め付けが適正な状態)

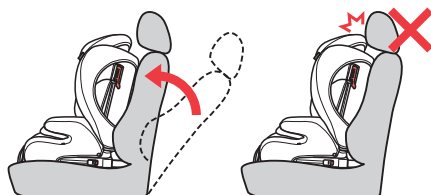
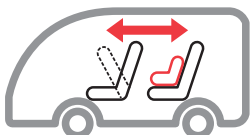


チャイルドシートとしての使い方

ISOFIXコネクタ+トップテザーを取り付けて使用する

●取り付け作業前にスペースの確保

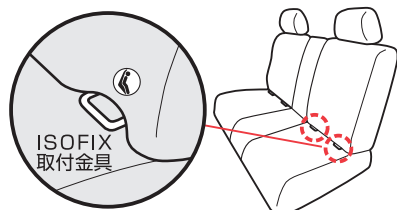
後部ドアが全開可能で、平坦な場所で取り付けをしてください。前席を前に倒したり、前にスライドさせて作業スペースを確保してください。後部座席がリクライニングで倒れている場合は、一番起こした位置にしてください。



注意 取り付ける際は、座席の背もたれを起こしてください。座席のヘッドレストが本装置に当たる場合は、上にあげるか取り外してください。

1

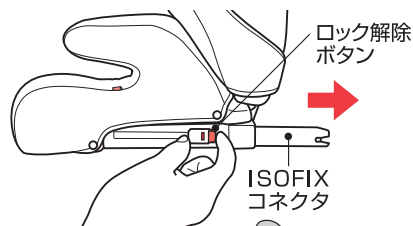
車両の座席の背もたれの下部分を少し押し上げて、ISOFIX取付金具の位置を確認してください。



2

ISOFIXのロック解除ボタン(赤)を押しながら、左右のISOFIXコネクタを目一杯引き出してください。

※インジケータは赤色です。



3

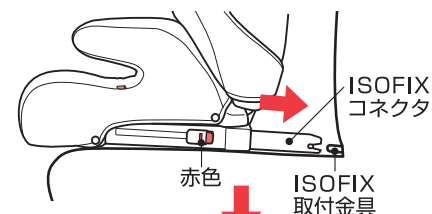
車両の座席に本装置を置き、トップテザーを本装置の座面に置くか、座席のヘッドレストを引き上げ、背もたれ背面に通しておきます。



4

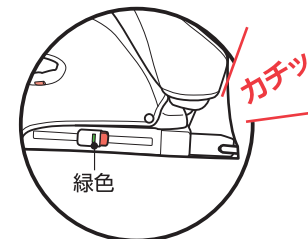
ISOFIX取付金具に左右のISOFIXコネクタの位置を合わせ、「カチッ」と音がするまで差し込むとロックされます。

※左右のインジケータが、赤色から緑色に変わります。

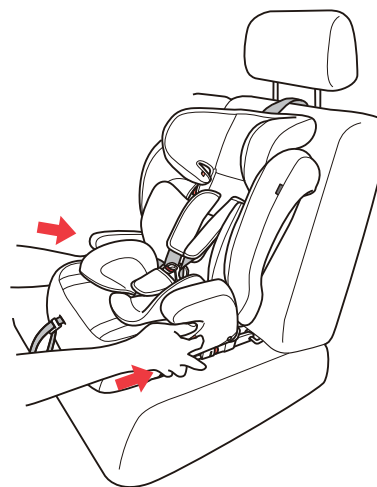


5

さらに、本装置と車両の座席の背もたれとの間に隙間がなくなるまでゆっくり押し込んでください。確実にロックされているか、本体を前後に軽く揺すって確認してください。

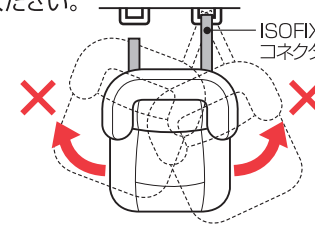


警告 決して横向きや後ろ向きの座席には取り付けないでください。お子様を座らせた際に頭頂部がヘッドサポートから出ないように、高さを調節してください。



注意

取り付け・取り外しの際、ISOFIXコネクタが片側のみ接続された状態で本体をひねったり左右に揺ると、ISOFIXコネクタが破損しますので絶対におやめください。



補足

強く押し込み過ぎますと、ロック解除が困難になりますので注意してください。

ISOFIXコネクタ+トップテザーを取り付けて使用する

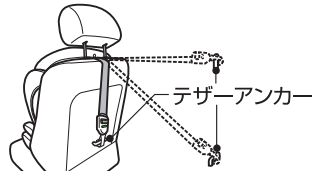
5

トップテザーストラップ調節ボタンを押しながら、後ろ側のトップテザーストラップを引き出して緩めます。

※インジケータは赤色。

6

トップテザーフックを、テザーアンカーに取り付けます。



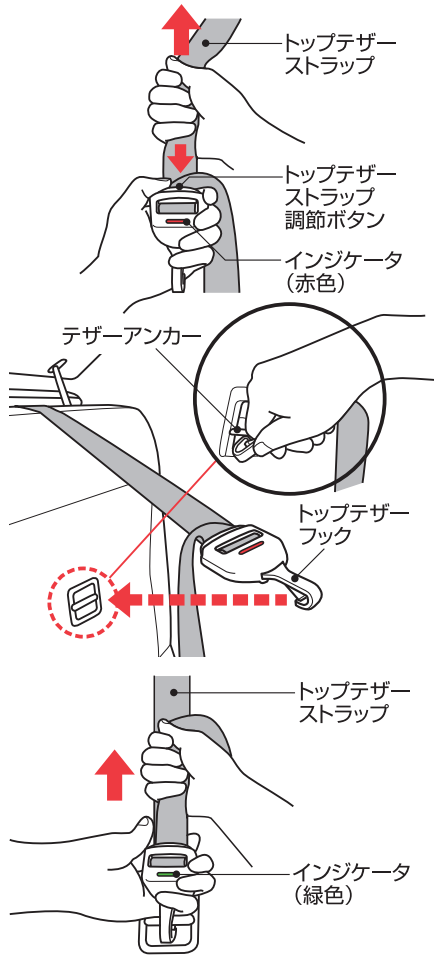
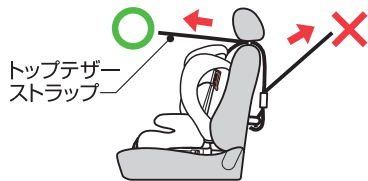
※車両によってテザーアンカーの位置が異なりますので、車両の『取扱説明書』で確認してください。

7

手前のトップテザーストラップを引っ張り、インジケータが緑色に変わるまで締め付けます。

※インジケータが緑色。
(締め付けが適正な状態)

●締め付ける方向



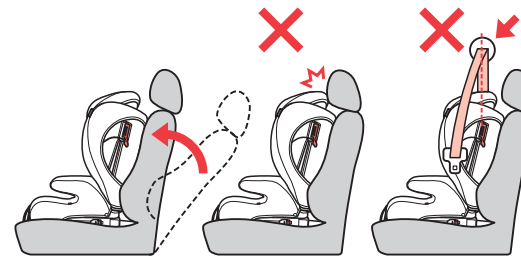
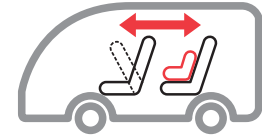
注意 左右のISOFIXコネクタをISOFIX取付金具に確実に差し込み、固定してください。固定されていないと重大な事故・傷害を受けるおそれがあります。

チャイルドシートとしての使い方

3点式シートベルトを取り付けて使用する

●取り付け作業前にスペースの確保

後部ドアが全開可能で、平坦な場所で取り付けをしてください。前席を前に倒したり、前にスライドさせて作業スペースを確保してください。後部座席がリクライニングで倒れている場合は、一番起こした位置にしてください。



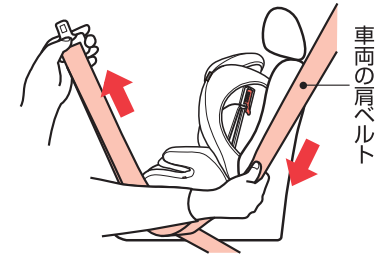
注意 取り付ける際は、座席の背もたれを起こしてください。

座席のヘッドレストが本装置に当たる場合は、上にあげるか取り外してください。

座席の背もたれを、車両のシートベルトの取り付け位置より後方にスライドさせて使用しないでください。

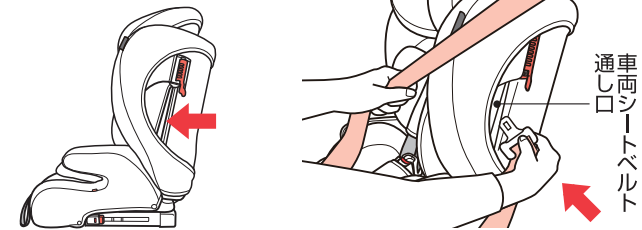
1

車両のシートベルトを、ねじれないようにゆっくり引き出してください。



2

車両シートベルト通し口(本装置の背もたれと本体カバーの間)に、車両のシートベルトを反対側に通します。

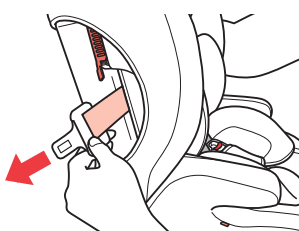


チャイルドシートとしての使い方

3点式シートベルトを取り付けて使用する

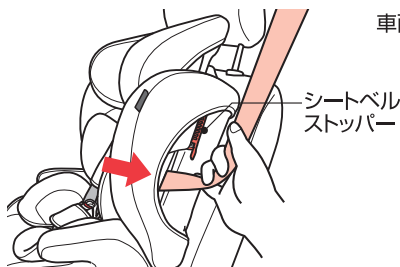
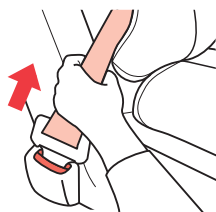
3

車両シートベルト通し口に通した車両のシートベルトを反対側に引き出して、ねじれがないかを確認してから車両のバックルにセットします。

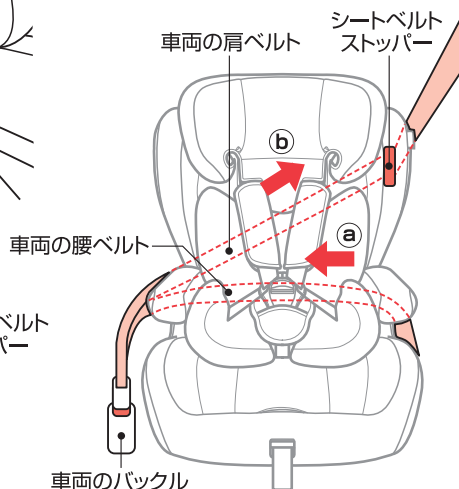


4

車両の腰ベルトを引っ張り(㊸)、車両の肩ベルトを巻き戻して(㊹)車両のシートベルトを緩みをなくします。

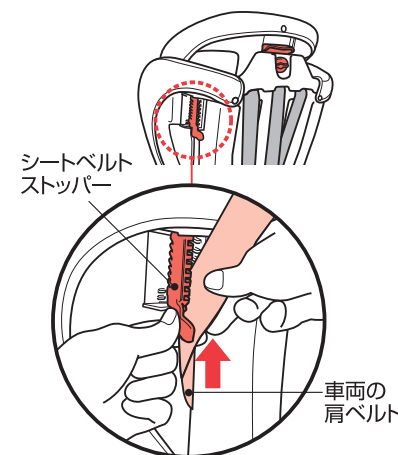


警告 車両のバックルとタンクをセットした際、「カチッ」と音がしたことを確認してください。



5

車両のシートベルトがピンと張るように巻き戻し、車両の肩ベルトをシートベルトストッパーで固定してください。



6

本装置の座面の上から体重をかけ、車両の座席に押し付けて、車両のシートベルトを締め付けます。



補足 車両のシートベルトがバックルに届かない場合、車両の背もたれや座席位置を調節して、再度取り付けてください。
本装置を車両の背もたれに押し付け、ぐらつきがなくしっかり固定されていることを確認してください。

セット後の確認

- 車両のシートベルトのタンクとバックルが、確実にセットされている。
- 車両のシートベルトに、ねじれや緩みがない。
- 車両の肩ベルトが、シートベルトストッパーに確実に固定してある。
- 本装置を前後に軽く揺すって、ぐらつきがなく安定している。

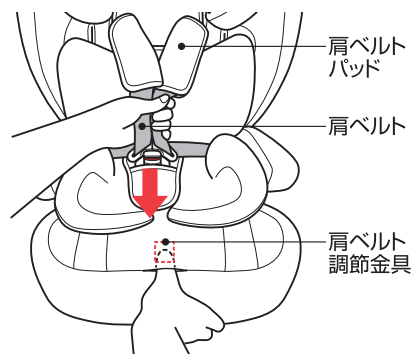
警告 上記の内容を満たしていない状態で使用しないでください。本装置の機能が十分に発揮せず危険です。

チャイルドシートとしての使い方

お子様の乗せ方

1

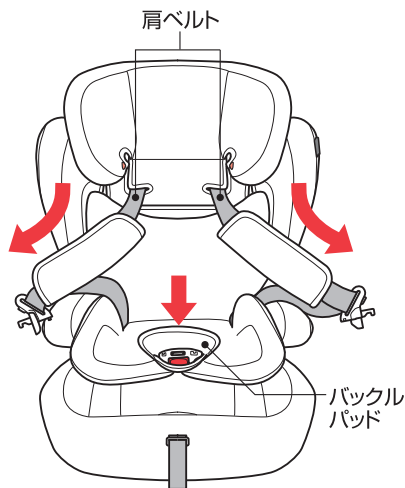
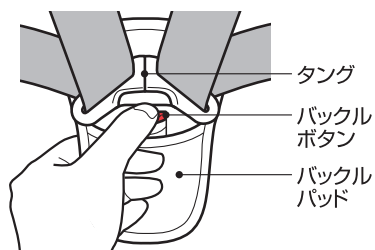
肩ベルト調節金具を押しながら、左右の肩ベルト(肩ベルトパッドの下側)を持って手前に引っ張り、肩ベルトを緩めます。



2

バックルパッドを引き下げ、バックルボタン(赤いボタン)を押して、タングをバックルから解除します。

肩ベルトを左右に開き、バックル・バックルパッドを前に倒し、お子様が座れるスペースを確保します。

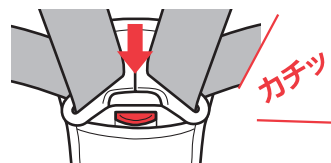


注意 左右の肩ベルトの長さが均等になるように、左右の肩ベルトを同時に引き出してください。

補足 バックル内に飲み物や食べかす等が入ると、バックルの機能を損なうおそれがありますので、水分・ゴミは取り除いてください。

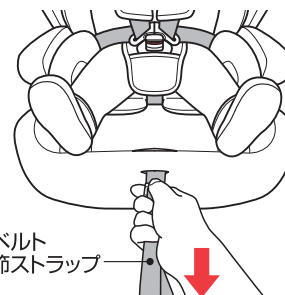
3

バックルが、お子様の股の間に収まるように深く座らせます。左右のタングを合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込み、バックルパッドを引き上げます。



4

腰ベルトに緩みがないことを確かめてから、肩ベルト調節ストラップを手前にゆっくり引っ張って、肩ベルトを締め、お子様を拘束します。



警告 バックルとタングをセットした際、「カチッ」と音がしたこと、確実に固定されていることを確認してください。

注意 肩ベルトにねじれができないように、また指を挟まないように十分注意してください。タングの接合部に強い力を加えると破損するおそれがあります。肩ベルト調節ストラップを上引っ張ると、肩ベルト調節金具が破損するおそれがあります。

補足 肩ベルトの調節の目安は、お子様の肩と肩ベルトの間に指が1本入る程度に調節してください。

お子様の降ろし方

肩ベルト調節金具を押しして肩ベルトを緩めます。

バックルボタンを押してロックを解除し、肩ベルトを左右に開きます。

お子様の腕を肩ベルトに引っかからないように注意しながら、ゆっくりとお子様を降ろしてください。

ジュニアシート(ハイバックシート)としての使い方

ご使用になる前に

インナークッション、肩・腰ベルト等を取り外します。

肩ベルトを緩め(P18参照)、タングをバックルから解除(P16参照)します。

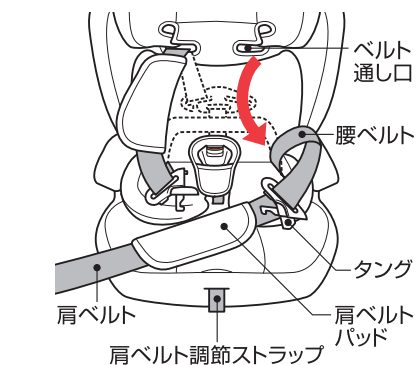
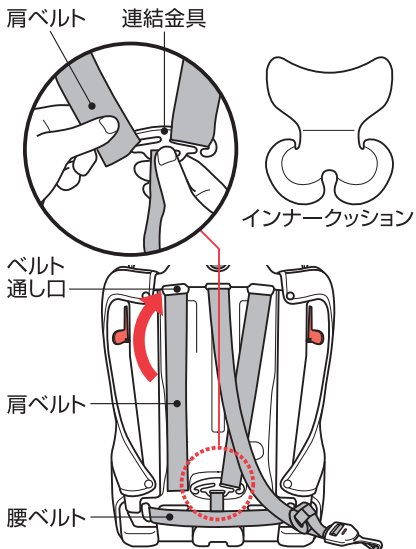
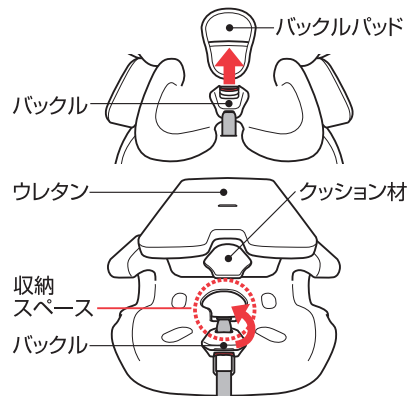
インナークッションを取り外します。

本装置の背面にある連結金具から肩ベルトを取り外します。

取り外した肩ベルトを、ベルト通し口から本体正面に引き出し、タングと肩ベルトパッドを引き抜きます。本体から、肩・腰ベルトを取り外します。

バックルパッドをバックルから引き抜きます。

バックル本体は座カバーを外し、ウレタンとクッション材の下にある収納スペースに収めます。

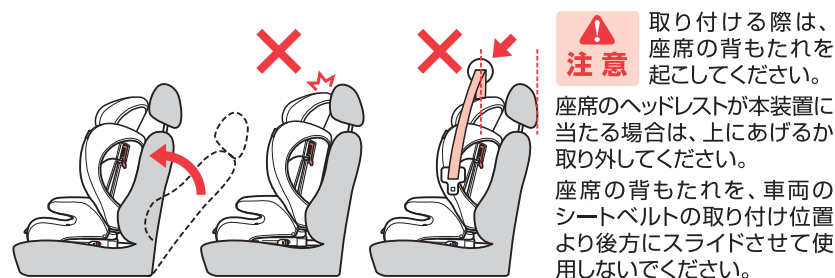


注意 肩ベルト調節ストラップ・テザーアンカーストラップは本装置から引き抜かず、小さく折りたたんでください。

ISOFIXコネクタ+3点式シートベルトを併用して使用する

●取り付け作業前にスペースの確保

後部ドアが全開可能で、平坦な場所で取り付けをしてください。前席を前に倒したり、前にスライドさせて作業スペースを確保してください。後部座席がリクライニングで倒れている場合は、一番起こした位置にしてください。

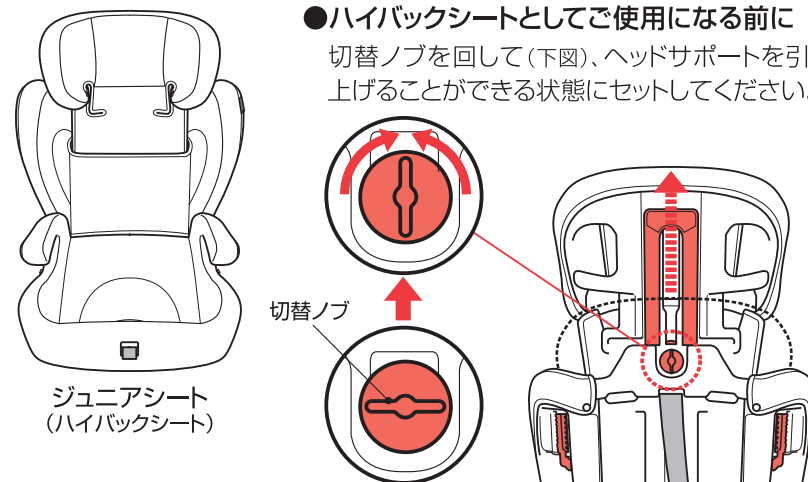


注意 取り付ける際は、座席の背もたれを起こしてください。座席のヘッドレストが本装置に当たる場合は、上にあげるか取り外してください。座席の背もたれを、車両のシートベルトの取り付け位置より後方にスライドさせて使用しないでください。

●ジュニアシートは、ISOFIXと3点式シートベルトの併用を推奨しますが、3点式シートベルトのみでもご使用いただけます。

●ハイバックシートとしてご使用になる前に

切替ノブを回して(下図)、ヘッドサポートを引き上げることができる状態にセットしてください。



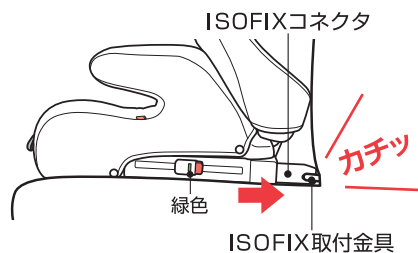
ジュニアシート(ハイバックシート)としての使い方

お子様の乗せ方

1

車両の座席に本装置を置きます。ISOFIX取付金具に左右のISOFIXコネクタの位置を合わせ、「カチッ」と音がするまで差し込むとロックされます。

※左右のインジケータが、赤色から緑色に変わります。



2

本装置と車両の座席の背もたれとの間に隙間がなくなるまでゆっくり押し込んでください。

確実にロックされているか、本体を前後に軽く揺すって確認してください。



3

お子様を深く座らせ、ヘッドサポートをお子様の頭の高さに合わせます。(P13参照)

ベルト通しフックに車両の肩ベルトのねじれがないように、お子様の首に掛からないように注意して通してください。

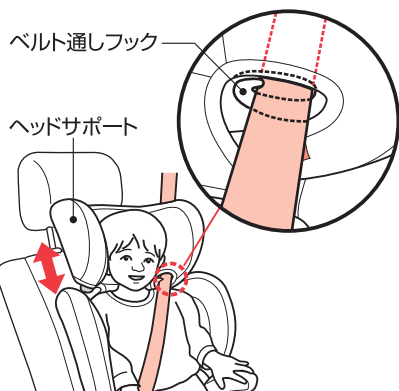


警告 決して横向きや後ろ向きの座席には取り付けないでください。お子様を座らせた際に頭頂部がヘッドサポートから出ないように、高さを調節してください。



注意 お子様の手や腕を車両のシートベルトで挟まないように、車両のシートベルトの上になるように注意してください。

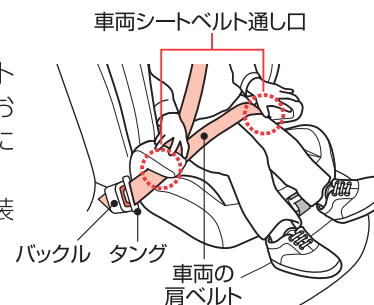
補足 強く押し込み過ぎますと、ロック解除が困難になりますので注意してください。



4

車両の腰ベルトは左右の車両シートベルト通し口にしっかりと掛かり、お子様の腰骨の低い位置にしてください。

タングをバックルに差し込んで本装置を固定します。



5

車両の腰ベルトを引っ張り(㊸)、車両の肩ベルトを巻き戻して(㊹)ください。



注意 お子様に乗っていないときでも車両のシートベルトで本装置を固定してください。

セット後の確認

- 車両のシートベルトのタングとバックルが、確実にセットされている。
- 車両のシートベルトに、ねじれがない。
- 車両の肩ベルトが、ベルト通しフックに通してある。
左右の車両シートベルト通し口に、車両のシートベルトがしっかりと掛かっている。



警告 上記の内容を満たしていない状態で使用しないでください。本装置の機能が十分に発揮せず危険です。



お子様の降ろし方

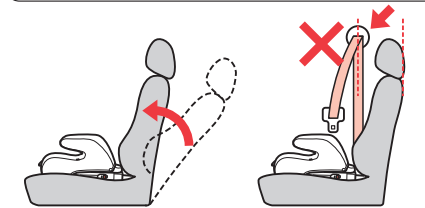
バックルボタンを押して、ベルト通し口から車両のシートベルトを外し、お子様を降ろします。

ISOFIXを使用されていない場合は、タングをバックルに差し込んで本装置を固定してください。

ジュニアシート(ブースターシート)としての使い方

ISOFIXコネクタ+3点式シートベルトを併用して使用する

●**取り付け作業前にスペースの確保** 後部座席がリクライニングで倒れている場合は、一番起こした位置にしてください。

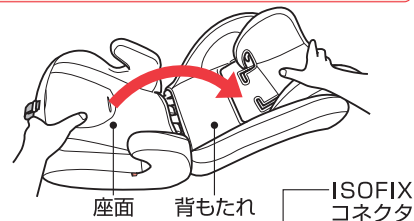


注意 取り付ける際は、座席の背もたれを起こしてください。座席の背もたれを、車両のシートベルトの取り付け位置より後方にスライドさせて使用しないでください。

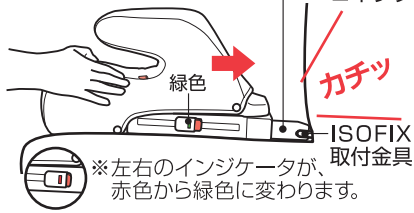
ご使用になる前に

- 22kg以上かつ110cm以上のお子様は、背もたれを外して座面のみ(ブースター)でもご使用いただけます。
- ジュニアシートは、ISOFIXと3点式シートベルトの併用を推奨しますが、3点式シートベルトのみでもご使用いただけます。

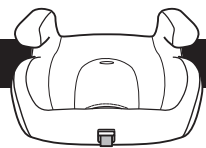
1 背もたれを倒し、座面を背もたれから取り外します。外した背もたれは大切に保管してください。



2 車両の座席に本装置を置き、ISOFIX取付金具に左右のISOFIXコネクタの位置を合わせ、「カチッ」と音がするまで差し込むとロックされます。さらに、本装置と車両の座席の背もたれとの間に隙間がなくなるまでゆっくり押し込んでください。



補足 ※左右のインジケータが、赤色から緑色に変わります。強く押し込み過ぎますと、ロック解除が困難になりますのでご注意ください。

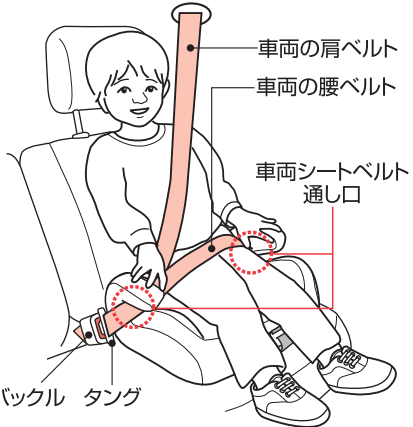


3 確実にロックされているか、本体を前後に軽く揺すって確認してください。本装置を車両の座席に置き、ぐらつきがなく安定していることを確認してください。車両の座席の背もたれがリクライニ

ングできる場合は、立てた状態で使用してください。倒した状態で使用した場合、衝突時に車両のシートベルトの下からすり抜ける場合があります。非常に危険です。
※安定しない場合は装着できません。

お子様の乗せ方

お子様を深く座らせませす。車両の腰ベルトは、左右の車両シートベルト通し口にしっかりと掛かり、お子様の腰骨の低い位置にくるようにしてください。
※車両の腰ベルトが緩んでいる場合は車両の肩ベルトを引っ張り、確実にフィットするように装着してください。
車両の肩ベルトは、肩の位置にくるように調節し、タングをバックルに差し込んで本装置を固定してください。



注意 車両の肩ベルトが、お子様の首に掛からないように注意してください。身長が低くて首に掛かる場合は、背もたれ付(ハイバックシート)でご使用ください。お子様が乗っていないときでも車両のシートベルトで本装置を固定してください。

お子様の降ろし方

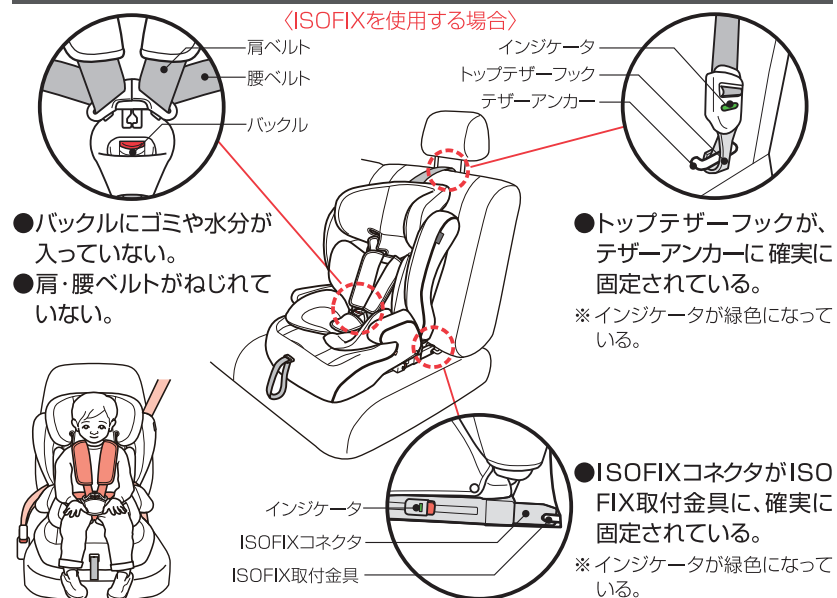
バックルボタンを押して、ベルト通し口から車両のシートベルトを外し、お子様を降ろします。ISOFIXを使用されていない場合は、タングをバックルに差し込んで本装置を固定してください。

ご使用前の日常点検

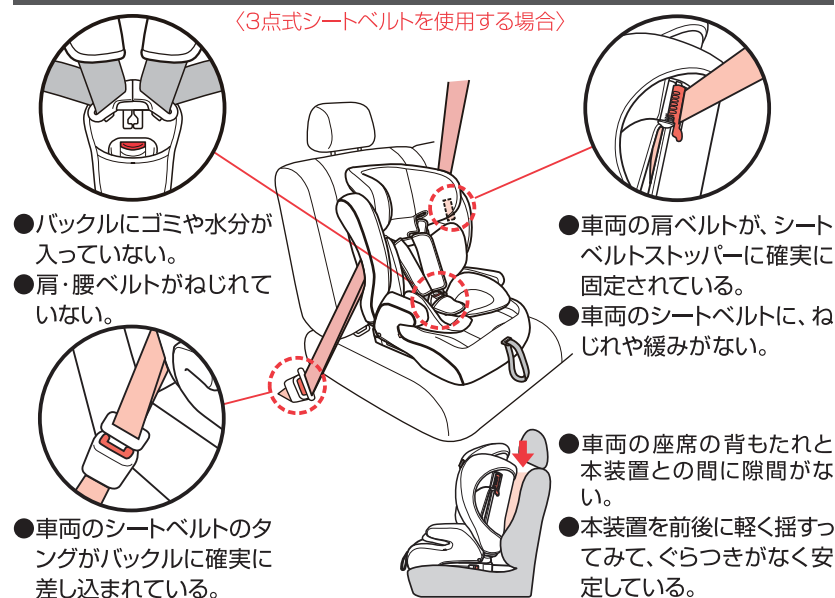
ご使用前に、本装置が車両に確実に取り付けられているか、必ず以下の項目を

確認していただいた上でご使用ください。

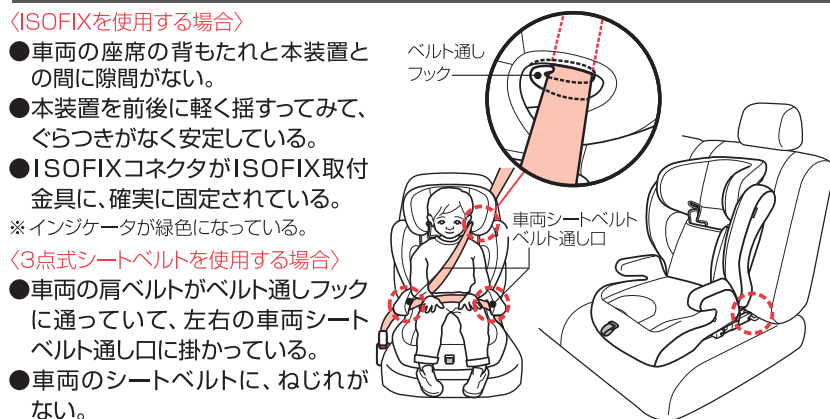
チャイルドシートとして使用する場合



チャイルドシートとして使用する場合



ジュニアシート(ハイバックシート)として使用する場合



ジュニアシート(ブースターシート)として使用する場合



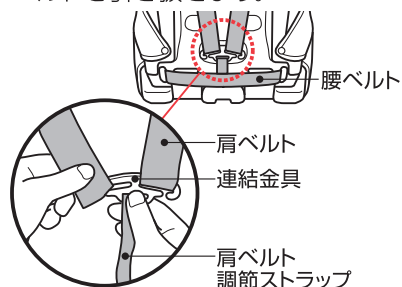
お手入れのしかた

カバー類の取り外し方

●肩・腰ベルトを外す

肩ベルトを緩め、タングをバックルから解除します。

本装置の背面にある連結金具から肩ベルトを取り外し、本体から肩・腰ベルトを引き抜きます。



注意 肩ベルト調節ストラップは、取り外さないでください。

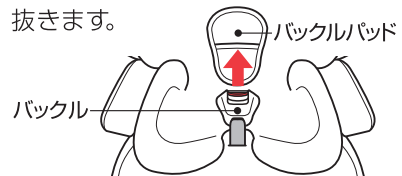
●ヘッドサポートカバーを外す

スナップボタンを外して、ヘッドサポートカバーを外します。



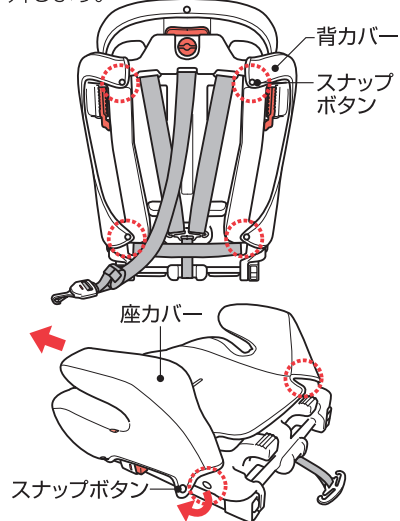
●バックルパッドを外す

バックルパッドを、バックルから引き抜きます。



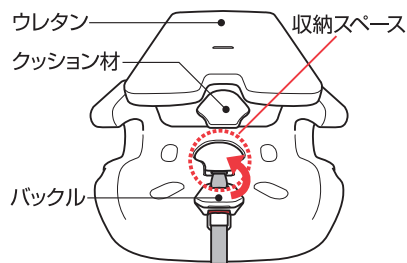
●背・座カバーを外す

背カバーは背面のスナップボタン(4カ所)を外し、座カバーは座面裏側のスナップボタン(2カ所)を外して取り外します。



●バックルを収納する

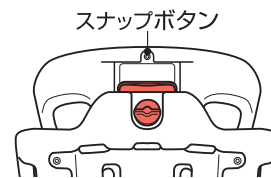
ウレタンとクッション材の下にある収納スペースに、バックルを収めます。



カバー類の取り付け方

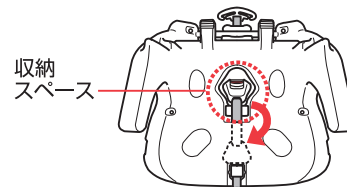
●ヘッドサポートカバーを取り付ける

ヘッドサポートカバーを取り付け、スナップボタンで固定します。



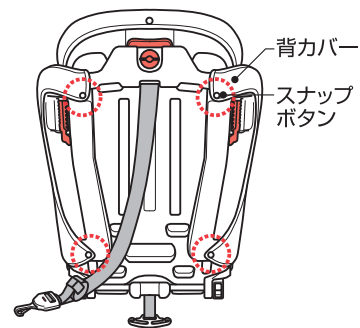
●バックルを取り出す

座面の収納スペースからバックルを取り出します。



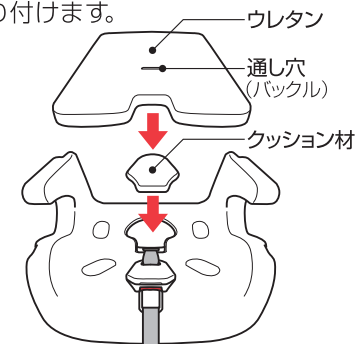
●背カバーを取り付ける

背カバーを取り付け、背面のスナップボタン(4カ所)を付けて固定します。

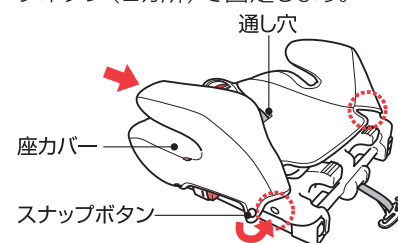


●座カバーを取り付ける

収納スペースにクッション材を入れ、ウレタンを座面にのせ、座カバーを取り付けます。

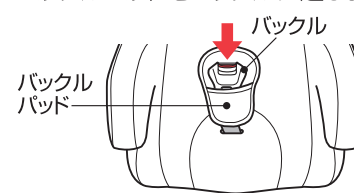


バックルをウレタンと座カバーの通し穴から座面の表側に引き出し、スナップボタン(2カ所)で固定します。



●バックルパッドを取り付ける

バックルパッドをバックルに通します。

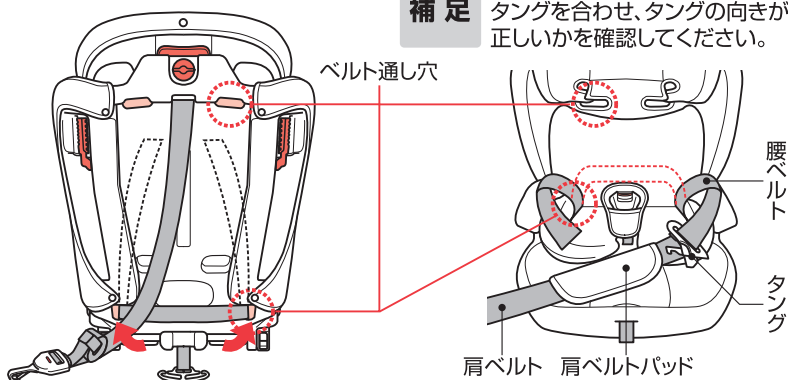


お手入れのしかた

ベルトの取り付け方

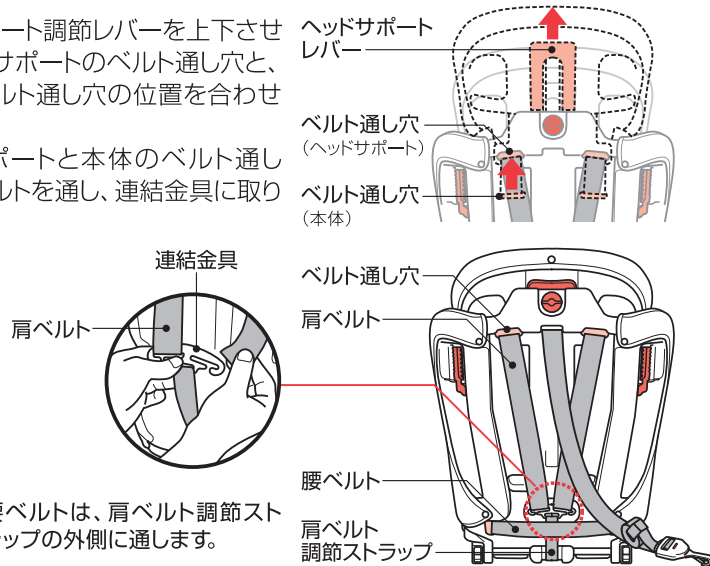
●肩・腰ベルトを取り付ける

背面から下側のベルト通し穴に肩・腰ベルトを通して、正面に引き出し、引き出した肩・腰ベルトに、タングと肩ベルトパッドを通します。



補足 ベルトにねじれがないか、左右のタングを合わせ、タングの向きが正しいかを確認してください。

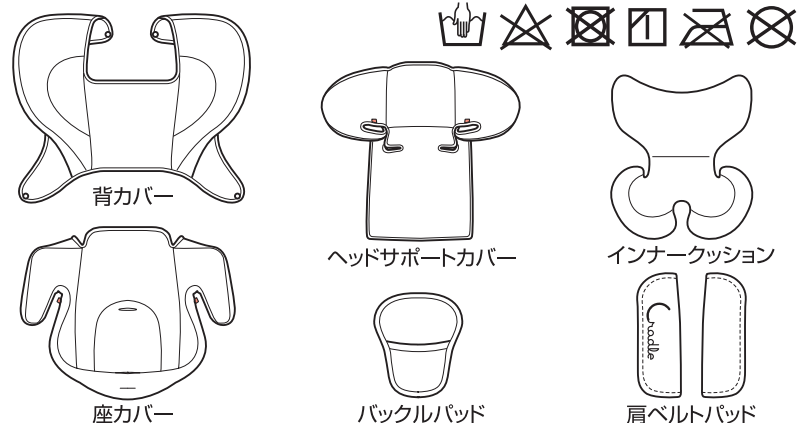
ヘッドサポート調節レバーを上下させて、ヘッドサポートのベルト通し穴と、本体のベルト通し穴の位置を合わせます。
ヘッドサポートと本体のベルト通し穴に肩ベルトを通し、連結金具に取り付けます。



注意 腰ベルトは、肩ベルト調節ストラップの外側に通します。

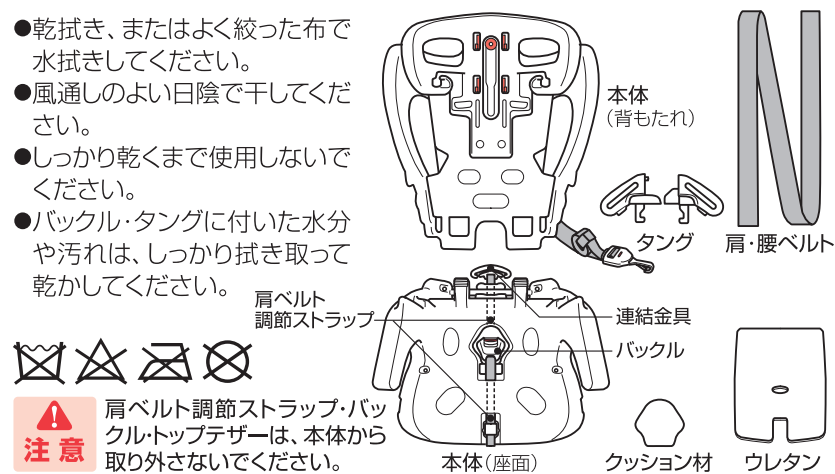
カバー・パッド・クッション

- 中性洗剤を使い、押し洗いしてください。
- 塩素系漂白剤は色落ちしますので、使用しないでください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- アイロンがけはしないでください。
- 脱水機・乾燥機等は使用せず、タオル等で水分を十分取り、風通しのよい日陰で干してください。



本体・ベルト・バックル等

- 乾拭き、またはよく絞った布で水拭きしてください。
- 風通しのよい日陰で干してください。
- しっかり乾くまで使用しないでください。
- バックル・タングに付いた水分や汚れは、しっかり拭き取って乾かしてください。



注意 肩ベルト調節ストラップ・バックル・トップデザーは、本体から取り外さないでください。

困ったときには

ご不明な点は、「お客様相談窓口」(0120-034-017)までお問い合わせください。

●チャイルドシートを取り付けたのですが、安定せずグラグラする。

- 本体を前後に軽く揺すってみて、本装置の座面と車両のシートが約3cm以上ズレないかを確認してください。(上下に動く場合は使用上問題ありません)
- 車両の座席がスライドやリクライニングできる場合は、前にスライドさせたり、背もたれを前に起こしたりすることで、しっかり固定できる場合があります。

●肩ベルトが緩まない。

- 肩ベルトパッドと一緒に肩ベルトを引いた場合は、肩ベルトは緩みません。肩ベルトパッド下側の左右の肩ベルトを持って、引っ張ってください。(P18)

●ヘッドサポートが上がらない。

- 切替ノブが縦になるように回してから操作してください。(P17)
- 肩ベルトを十分緩めてから操作してください。

●シートベルトで取り付けましたが、緩みやたるみがとれない。

- 本装置を車両の背もたれに押しつけて隙間をなくし、腰ベルト～肩ベルトを巻き戻して緩みやたるみを取ってください。(P25-26)

●バックルにタンクが入らない。

- バックルにゴミや水分等が入ったために、バックル解除ボタンが機能しない場合があります。ゴミや水分等を取り除いてもバックルにタンクが入らない場合は、「お客様相談窓口」までお問い合わせください。

●子どもの服が厚いためか、身体が少しきつそう。

- 肩ベルトを緩めて調節してください。(P18)
- インナークッションを取り外してください。

●肩パッドやインナークッションを新たに購入したい。

- 弊社ホームページから、または「お客様相談窓口」までお問い合わせください。

●運転席側か助手席側か、どちらに取り付けた方がよいですか。

- 助手席の後部をお勧めします。信号などの停車時にお子様の様子を確認いただいたり、お子様の乗せ降ろしが歩道側のできることでより安全です。

●廃棄したい。

- お住まいの各自治体の規定に従い廃棄してください。
- 本装置を落としたり強い衝撃を受けた場合、外見上の破損がなくても決して使用しないでください。

保証規定

- ①本製品の品質保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
- ②保証期間内には、パーツの欠品、加工不良などメーカーの責任によるものは無償保証といたしますが、お客様の責任によるものは保証いたしかねます。
- ③保証期間内でも、次の場合は保証対象外とさせていただきます。
 - フレームおよびプラスチック部品の自然劣化による変色。
 - 縫製部品の傷ややぶれ、変色。
 - 天災地変や、事故などによる故障や損傷。
 - 有償修理時に要する発送費。
 - 保証書および販売証明書のご提示がない場合。
 - 部品の紛失。
 - 一般家庭以外で、業務などに使用されて故障した場合。
 - 間違った使い方や改造、不適切な修理、手入れ不良による故障や損傷。
 - 保証書に製品名・お買い上げ日・お客様名・販売店名のご記入がない場合や、字句を書き換えられている場合。
- ④原則として、一度ご使用になった製品はお取り替えできません。また、パーツ欠品・加工不良のものを除き保証いたしかねます。
- ⑤製品の故障・損傷から派生する間接的な損傷や損害は、保証の対象外となります。
- ⑥事故や落下等で強い衝撃を受けた製品は、保証の対象外となります。
- ⑦保証書は日本国内においてのみ有効です。海外からの保証サービスは受付できません。
- ⑧ご贈答、ご移転で保証書に記入してある販売店に保証サービスを依頼できない場合は「お客様相談窓口」にご相談ください。
- ⑨本保証は保証書記載欄の販売店から、お買い上げ日にご購入されたお客様(贈答品の場合は、保証書記載欄の販売店からお買い上げになられたお客様から贈答された方)にのみ有効です。第三者から譲り受けた場合(リサイクルショップやネットオークション等含む)、使用履歴を確認できない場合は、本保証は適用されません。
- ⑩この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料保証をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権限を制限するものではありません。この保証期間後においてご不明な点がありましたら、「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

※製造が終了してから3年経過した製品や、必要部品の在庫がなくなった場合等、すでに修理対応ができない製品につきましては修理をいたしかねることがあります。
 ※保証期間内であっても、不具合のある箇所によっては修理ができない場合があります。
 ※本保証は事前の通知なく変更される場合があります。

保証書

お買い上げ後、お買い上げ日・お客様名・販売店名を直ちに記入いただき、レシートまたは販売証明書(ご購入年月日・販売店がわかるもの)と一緒に大切に保管してください。

製品名	クレイドル ハーネスジュニアISOFIX			故障内容記入欄
	お買い上げ年月日	年	月	
	保証期間			お買い上げ日より1年間
お客様	お名前	TEL		
	ご住所			
販売店	店名	TEL		
	住所			

- 万一故障が発生した場合は、この保証書とレシートまたは販売証明書をご提示ください。
- ご提供いただいた個人情報、保証書に基づくアフターサービスのために使用し、その他の目的に使用することは一切ございません。
- 本書は再発行しませんので、大切に保管してください。
- 品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますのでご了承ください。